



上野公園の桜(庄原市)

会報



庄原ロータリークラブ

SHOBARA ROTARY CLUB

2012~2013年度

- 例会/火曜日 12:30 庄原グランドホテル
/夜間例会 19:00 庄原グランドホテル
- 事務局/727-0013 庄原市西本町2-18-8 302号
TEL.0824-72-5500 FAX.0824-72-5500
E-mail:s-rotary@alto.ocn.ne.jp
- 会長/滝川 聖治 ●幹事/田邊 良三

2012年9月18日例会記録

9号(859)

- | | |
|-------------------|--------------|
| ■2012年9月25日のプログラム | プログラム委員会担当 |
| ■次回のプログラム | 社会奉仕・親睦委員会担当 |

会長挨拶 滝川会長



「原子力発電所の是非について」

皆さん今日は。今日は原子力発電所が必要か否かについて私の意見を述べさせていただきます。日本は今、エネルギーの安全保障の観点から見て無防備な状態に向かっています。

なぜなら、中東のイランやイラクの政情悪化で原油などの供給が不安定になる危険が強まっている中で、原子力発電を中止して火力発電への依存を強めているからです。

さらにビックリしたのは大衆受けを狙って選挙のためかどうか知りませんが、先日の政府は「2030年代にあらゆる政策資源を投入して原発ゼロにする」事を決定しました。本当にこれで日本の国は大丈夫なのでしょうか？20年後、日本の国が貧しい国になっていたら誰が責任をとるのでしょうか？おそらく原発に反対した人々もその時はこんなに生活が苦しくなるとは思わなかったと言うでしょう。

「はっきり原発は必要だと言う政治家や有識者はいないのでしょうか？」2年前の東日本の大震災で福島原発の重大事故を経験している中で、国民の感情を逆撫でするような事は言えないのでしょうか？

原発は日本の生命線であり、今より安全性を高めながら継続すべきと思います。せめて 原発をメインに火力、水力、太陽光や風力、地熱等の再生可能エネルギーをバランスよくミックスするのが得策と思います。

次にいくつかその根拠を述べてみます。

1つ目は 日本のエネルギー自給率(国内のエネルギー総消費量のうち国内で生産する割合)は、原発を含めて2009年には20%だったのが、原発なしでは4%しかなく、先進国ではもっとも脆弱です。もしイランがホルムズ海峡を封鎖すると、日本が輸入する原油の85%、天然ガスの25%程度がストップします。ちなみに米国は、自前のエネルギー確保を安全保障の柱に掲げ、出来るだけ中東への依存度を下げています。シェールガスの産出も盛んに行っており、米国の自給率は実に80%に達しています。ホルムズ海峡が封鎖されても影響はわずかです。

2つ目は火力発電に使用する燃料費に関して日本総研の試算によると、2012年度中に大飯原発3、4号機以外の原発が再稼働しなければ10年度に比べ燃料費は約4兆円増加します。すべて電気料金に添加されるとすると、全国平均で最大30%強の値上げが必要になります。これでは日本国内で頑張っている製造業は生存できません。今まで以上に海外移転が進み、国内の空洞化が進むでしょう。

以上で原発の話を終わります。ご静聴ありがとうございました。

奉仕を通じて平和を

2012~2013年度RI会長
田中作次

幹事報告

1. 本日の配布物・・・①会報No.8号
2. ハイライトよねやま 150号

出席報告

会員数	36名	出席者	31名	MU	3名
欠席者	2名	出席率	94.44%		

スマイル報告

市川会員・・・敬老会終わりました。中国新聞に出ました。
和泉会員・・・大型バイクに乗り始めて37年、先日は富士山へ行き、今月は大分県へツーリングです。バイクは気持ち良いですよ！
石田会員・・・秋の収穫期を迎え、大型台風16号の進路が外れ、安堵しました。
住田会員・・・こしひかり収穫。品質、収量とも berry good！
少々倒伏しましたが・・・。
足立会員・・・秋ですね！朝夕涼しくなりました。
高橋会員・・・広島県健康福祉局より、高齢者福祉、広島県の宝と題した取材により、記述して頂き、県内各福祉団体等へ配布されました。

■プログラム

歴代会長卓話

内田直恵（第18代）



先週の例会でお二人のパスト会長が卓話をされました。私のお話しはそのパート3のようなお話をさせていただきます。

中原パスト会長が、お願いをしたいと前置きされて、事業計画を長期的計画はむずかしくてもせめて5年～3年の中期的計画を立ててプロジェクトを完了させていく、勿論、短期的事業と組み合わせるといふ提案といふか、お願いがございました。私も同感です。確かに年度ごと RI 会長のテーマが変わり、それに沿ってガバナー信条、重点事項、協調事項に連携してクラブ

会長のリーダーシップでクラブの方針、提案は理事・役員会、又は、クラブ協議会、事業は各委員会決定され運営をされます。年度、年度での会長のリーダーシップ、又、特色が出されて、それは良いと思います。

しかし、その中で、ロータリーの価値観がうすれていっている、有意義な充足感を感じなくなっていると思ってましたので、私が会長をさせて頂いた時、クラブチームリーダーを構成していただき、クラブの経験豊かなチャーターメンバーの会員の方々に歴代会長の卓話という形で、プログラムの中に入れて頂きました。

私が入会当時、身近にロータリーについてご指導下さったり、注意をして下さったり、厳しく教えられたりということがあり、ロータリーに入会させて頂いたという誇りを感じることができました。その頃、ロータリー雑誌の中で、「選ばれた人」という記事を読んで、ロータリアンの資質を理解したように思ったことがあります。

私からのお願い事、今チャーターメンバーの会員の方々元気を出して下さい。来年創立20周年を迎えますが、25年、30年、35年・・・庄原ロータリークラブはどうなるのでしょうか。当クラブは、40代、50代の会員の方々がいっぱいいます。彼等がリーダーとして活力ある魅力あるクラブにして頂けるように、どんどん勉強の機会を、そして、価値観を分かち合えるように、本当のロータリーの楽しさも教えて頂きたい。会員は数回メーキャップをして、他クラブに出席してみても勉強する方法も良いと思います。

庄原ロータリークラブは庄原流であっても良いと思います。完全を求めるのではなく、不足欠乏を知ること、それを補おうと勉強し実行することで、新しい意欲が生まれると思います。